

## 教育委員会定例会（平成28年10月）会議録

1 日 時	平成28年10月6日（木）15:00～16:40
2 場 所	新居浜市庁舎3階 応接会議室
3 出 席 者	<p>教 育 長 関 福生</p> <p>委 員 三木 由紀子 伊藤 嘉秀 宮内 文久 長野 美和子</p> <p>総括次長 榎木 奨悟</p> <p>次 長 高橋 良光 曾我 幸一 横井 邦明 三沢 清人</p> <p>課 長 高橋 正弥 桑原 一郎 菅 春二</p> <p>主 幹 飯尾 理一郎</p>
4 教育長及び 教育委員会事業報告	<p>9月事業報告及び10月事業予定について</p> <p>その他</p>
5 記録者氏名	社会教育課 岡部 文仁
6 会議の概要	<p>&lt;教育長及び教育委員会事業一般報告&gt;</p> <p>&lt;議案&gt;</p> <p>議案第33号 審査請求について</p> <p>議案第34号 行政不服審査請求について</p> <p>議案第35号 新居浜市寺尾音楽教育振興基金条例の一部を 改正する条例の制定議案の提出について</p> <p>&lt;いじめ、不登校等生徒指導関係&gt;</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>平成28年度新居浜市教育委員会点検・評価について</p> <p>全国学力・学習状況調査結果について</p>

<p>関教育長</p>	<p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成28年第10回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員につきましては、宮内委員さん、伊藤委員さんをお願いいたします。会期の決定は本日限りといたします。</p> <p>平成28年第9回定例会会議録承認は、三木委員さん、宮内委員さんにご署名をいただいております。教育長及び教育委員会事業報告を行います。各課長から一般報告をお願いいたします。</p>
<p>三沢次長兼社会教育課長</p>	<p>社会教育課の9月及び10月の主な行事についてご報告いたします。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>9月 4日 東予地区愛護班活動研究集会（ウイメンズプラザ） 8日 全国公民館研究集会・中国四国地区公民館研究集会（山口市）（～9日）</p> <p>10月 6日 第31回新居浜市民俳句大会（市民文化センター大会議室） 19日 愛媛県公民館研究大会（愛媛県生涯学習センター） 26日 高齢者生きがい創造学園グラウンドゴルフ大会（山根グラウンド）</p> <p>以上でございます。</p>
<p>高橋学校教育課長</p>	<p>学校教育課の9月及び10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>9月 1日 公立幼稚園、小・中学校第2学期始業式 9日 第2回ESD推進事業協議会 11日 別子小中学校運動会 18日 中学校運動会（西中、船木中） 19日 中学校運動会（泉川中） 23日 中学生英語スピーチコンテスト（市民文化センター） 24日 中学校運動会（東中、南中、北中、大生院中、川東中） 25日 小学校運動会（若宮小、浮島小、別子小を除く） 27日 中学校運動会（中萩中、角野中）</p> <p>10月 1日 中学生アメリカ訪問団第5回事前研修会（市民文化センター） 公立幼稚園運動会 全国お手玉遊びの祭典（あかがねミュージアム）</p>

	<p>2日の競技大会には延べ250人が参加</p> <p>4日 中学校新人体育大会（～5日、8日）</p> <p>7日 中学生アメリカ訪問団第6回事前研修会 結団式・壮行会（市民文化センター）</p> <p>9日 中学生アメリカ訪問団第7回事前研修会 （市民文化センター）</p> <p>21日 第52回新居浜市小学校陸上記録会（東雲競技場） 船木中学校ひびき分校運動会</p> <p>29日 中学生海外派遣事業出発（～11月8日）</p> <p>以上でございます。</p>
飯尾スポーツ文化課主幹	<p>スポーツ文化課の9月及び10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>9月14日 岩手国体出場者壮行会 （選手35名、監督2名の合計37名）</p> <p>19日 トップアスリート事業（サッカー：FC今治）</p> <p>10月 2日 第47回市民体育祭開会式ふれあいスポーツの部</p> <p>9日 市民体育祭 競技スポーツの部（～10日）</p> <p>27日 市展開催（あかがねミュージアム）（～11月6日） ※愛媛国体リハーサル大会（グリーンフィールド）</p> <p>22日～24日 第52回全国社会人サッカー選手権大会</p> <p>以上でございます。</p>
曾我次長兼発達支援課長	<p>発達支援課の9月及び10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>10月 1日 新居浜特別支援学校運動会</p> <p>6日 新居浜市地域発達支援協議会専門部会 （こども発達支援センター）</p> <p>8日 新居浜特別支援学校川西分校運動会</p> <p>以上でございます。</p>
桑原学校給食課長	<p>学校給食課の9月及び10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>9月 5日 学校給食センター 2学期給食開始</p> <p>9日 9月度学校栄養教職員会（学校給食センター）</p> <p>28日 学校給食正規調理員会（学校給食センター）</p>

<p>横井次長兼図書館長</p>	<p>29日 学校給食施設整備庁内検討委員会（市役所）</p> <p>10月 7日 10月度学校栄養教職員会（学校給食センター）</p> <p>14日 共同調理場運営委員会（学校給食センター）</p> <p>20日 3学期魚介類審査会（泉川公民館）</p> <p>以上でございます。</p> <p>図書館の9月及び10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>9月 1日 乳幼児向けお話会</p> <p>3日 別子銅山に関する本の解説講座 『別子銅山を読む』第3回 『住友の歴史から』講師：坪井利一郎（54名）</p> <p>14日 幼児向けお話会 （子ども59名、うち保育園児37名）</p> <p>17日 小学生向けお話会</p> <p>21日 幼児向けお話会</p> <p>○ロビー展示</p> <p>『昔ながらの伝統あそび -お手玉-』 （資料提供：日本のお手玉の会）</p> <p>10月1・2日開催の「全国お手玉遊びの祭典」に合わせてお手玉の魅力や活動等を紹介。</p> <p>2～15日 『新居浜の救急医療体制について』 （保健センター）</p> <p>20～27日 『がん征圧月間・がん予防検診啓発について』 （保健センター）</p> <p>○テーマ展示</p> <p>一般展示『なつかしの“昭和”』 児童展示『おいしいあき！みつけた！』</p> <p>○ケース展示</p> <p>『昔ながらの伝統あそび -お手玉-』 （資料提供：日本のお手玉の会）日本・海外のお手玉を紹介。</p> <p>10月 4日 第30回健康講座（多目的ホール） 「知っておきたい乳がんの話2016」 講師：佐々木 章公 （十全総合病院 副院長・日本乳癌学会認定医） 泉谷 美和</p>
------------------	---

<p>菅総合文化施設管理課長</p>	<p>(十全総合病院 臨床検査技師・超音波検査士)</p> <p>6日 乳幼児向けお話会  12日 幼児向けお話会  15日 小学生向けお話会  26日 幼児向けお話会</p> <p>○ロビー展示</p> <p>『昔ながらの伝統あそび ーお手玉ー』  (資料提供：日本のお手玉の会)</p> <p>『心躍る秋～新居浜太鼓祭り写真展～』  「新居浜太鼓祭りコンテスト入賞作品」や「新居浜太鼓祭りポスター」を紹介。  (資料提供：新居浜市観光協会)</p> <p>○テーマ展示</p> <p>一般展示『秋の夜長にモノづくり』  児童展示『日本のむかしばなし』</p> <p>○ケース展示</p> <p>『昔ながらの伝統あそび ーお手玉ー』  (資料提供：日本のお手玉の会)</p> <p>以上でございます。</p> <p>総合施設管理課の9月及び10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>9月 9日「大ペルーアンデス文明展」開会式・レセプション  10日「大ペルーアンデス文明展」(～10月18日)  在日ペルー大使と高校生との交流会(東平ほか)  劇団ドトオ公演「よいやさのさっ！」(4回公演)  (作・演出 福田卓郎氏)(～11日)</p> <p>16日・22日「大ペルーアンデス文明展」  ギャラリートーク(学芸員)</p> <p>10月1・2日 全国お手玉遊びの祭典</p> <p>2日 太鼓台入れ替え(岸影)(18日夜から下郷)  8日 フォルクローレ演奏とペルー料理(カフェ)  16日 太鼓祭り生中継(～18日)(多目的ホール)  27日 新居浜市美術展(～11月6日)  29日 石鎚みすゞコスモス15周年記念  「金子みすゞの宇宙～わらい～」</p>
--------------------	--

<p>関教育長</p>	<p>以上でございます。</p> <p>9月及び10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>9月9日「大ペルーアンデス文明展」の開会式に参加しました。このような事業を進めることによって国際交流の側面からも、いろいろな新居浜の文化を活性化していける取組ができればということで、今年度文化庁の補助も受けて取り組んだものです。実際にペルー大使やチンチェロ市長等が新居浜市にいられて、南高校ユネスコ部とのつながりも生まれました。このような事業が今後より新居浜市を活性化していく一つのきっかけになればと願っております。</p> <p>この事業と関連していませんが、前文化庁長官の青柳氏があかがねミュージアムの名誉館長に就任され、記者会見が開かれました。青柳氏と話をしましたが、文化に対して非常に造詣が深く人脈も豊富であり気さくな方です。これからの新居浜の文化に対して、貢献が期待されるものと考えていますので、いろいろな意味でつながりを深めていけたらと願っています。</p> <p>11日は別子山秋季大運動会に参加しました。別子山の人口より多い人が学校に集まったと思います。みんなが和気あいあいとし、今年から入った子ども達もその中で育てられていることを実感した運動会でした。今後、どのようにして地域と学校との関係性を深めていくのかという課題もありますが、頑張っている子ども達、また別子山の地域の人達が良い方向に動いていけるように支援したいと考えております。</p> <p>14日は国体の壮行会がありました。来年度に向けて着々と愛媛県の選手団の力が上がっていることを昨今の報道等を見ても感じます。17日にはセーリングプレ大会がありました。今後はサッカー、ウエイトリフティングもありますが、来年に向けてみんなで力を合わせておもてなしの心で国体を盛り上げていきたいと思います。</p> <p>18日以降は運動会がありました。今年は雨にたたられた運動会であったかと思えます。それぞれ皆さん、いろいろな学校に参加されたかと思えます。後ほど、ご意見があれば伺いたしたいと思います。</p> <p>23日には鳴門教育大学を訪問し、久我直人教授と学校の業務改善についての検討会を持たせていただきました。6月の文科省の学校の業務改善のタスクフォースの報告書を見ても、これから先、学校の先生方が本来業務に当たることができるようにするためには</p>
-------------	---

	<p>業務を改善して、その中で本来の業務である子ども達との関係に力を掛けられるような仕組みを作っていく必要があると考えています。久我教授には、10月30日に新居浜市で講義をしていただきますが、来年度に向けてプロジェクト的な取組を行って、学校を良き方向に向ける改善を計画的に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>27・28日は今年度に校長・教頭の登用試験を受ける方と面談をさせていただきました。今まで校長先生と話をする機会は多かったのですが、なかなか教頭先生や教職員、主幹教諭と話す機会がなかったのですが、今回一人15分という短い時間でしたが、直接話を聞かせていただき学校の課題であったり先生方の想いを知ることができました。現場主義を大切にしながら取り組んでいきたいと肝に銘じた2日間でした。</p> <p>10月3日は校長会、4日は公民館館長会に参加しました。先ほど申したように、現場の声をいかに我々が耳を傾ていくかということについて非常に大事だと感じた会でした。公民館についても、これからより一層地域の地方創生拠点といひますか社会教育拠点という意味合いを高めていきたいという想いを館長から聞かせていただきました。皆さんの意見を聞きながら、来年度に向けて新しい取組を検討していきたいと考えています。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ただいまの教育長及び教育委員会事業報告で、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>学校給食課にお伺ひします。</p> <p>10月20日に予定している魚介類審査会とはどのような内容ですか。</p> <p>魚介類については学期ごとに審査会をしております。今回は、3学期に使用する魚の値段と納入業者を検討する会でございます、実際に業者さんから見本を持ってきていただき、泉川公民館の調理室で栄養士さん中心に調理等をして、栄養士のほか、学校給食会の理事、事務局である学校給食課職員が試食しながら点数をつけていくという方法で審査をさせていただいております。</p>
宮内委員	
桑原学校給食課長	

<p>三木委員</p>	<p>感想なのですが、9月23日に中学生英語スピーチコンテストに出席させていただきました。年々レベルが上がっているということで、新居浜ライオンズクラブのサポートの下、本当に良いコンテストだったと思います。</p> <p>いろいろお話を伺っている中で、今回27回目ということで続けていくことの大変さについて言われていました。どうしても英語の先生や生徒への負担があります。それがいい意味で良き方向の負担になるのであれば良いのですが、無理があるのであれば、掛ける労力をもう少しうまく配分するとか、先生の面からでも生徒の面からでも今掛ける労力をもう少し減らすことはできないのかと思います。新居浜ライオンズクラブの方は是非今後も続けていただきたいとおっしゃっていましたが、先生方のお大変さについても話があったので、この点も考慮しながらさらに良いスピーチコンテストにしていただければと感じました。</p>
<p>関教育長</p>	<p>今の件についてですが、去年から始めた事業である英語キャンプについて、やはり三木委員が言われたことと同じことを先生から聞いています。いろいろな事業を起こすことが前向きな取組という考えが一方にあるのですが、逆にそれが一つを起こして何かを切るのであれば仕事は増えないと思いますが、いつの間にか増えるだけで、やめることは非常にエネルギーがたくさん掛かり、やめることができないという風潮は正直あるような気がします。先ほど申し上げた業務改善に当たっては増やすだけでなく、省くことが必要なものについても考えていきたいと思いますので、また是非ご意見を聞かせていただけたらと思います。</p>
<p>長野委員</p>	<p>10月1日・2日にお手玉の会に参加しました。実行委員の方々は熱心に活動されており準備まで大変だったと思います。また、素晴らしい技をお持ちの方が全国から集まってお手玉を広めていく良い機会だったと思いますが、子ども達の参加が非常に少なかったです。子どもの部の競技もあったのですが、新居浜の子どもの参加が少なく寂しいなと思いました。順位をつけたり賞をつけたりするのであれば、もっと盛り上がる形にしていく、せっかく「新居浜のお手玉」と打ち出すのであればもっと工夫が必要なのではないかと思いました。なかなか学校現場にこれを持っていくことは難しいと思いますが、社会教育の場でなんとか広げていく工夫はできない</p>



<p>関教育長</p>	<p>のかと思います。地域によってはお手玉クラブを熱心にされているところもありますがなかなか広がっていきません。大変良い活動です。自分自身の技術を磨くだけでなく、みんなで輪を取りながらいろいろな年代の方と触れ合える利点も多い活動だと思いますので、これを機にさらに広げていく工夫を新居浜市として考えていただけたらと思いました。</p> <p>お手玉の会は、私も最後にあいさつをさせていただきましたが、今年は今までと違って、お手玉の会のメンバーが放課後児童クラブを訪ね回って、お手玉遊びを広げてくださったようです。来年度以降、もう少し膨らませることはできないかと実行委員長の方から言われました。学校で今E S D教育を進めていますが、持続可能な社会を作っていくためには、やはり人のつながりが非常に大事だと思いますので、メニューを提示し学校側が選択するような仕掛けを考えていきたいです。</p> <p>これはお手玉だけではなく、先ほど文化協会会長とも話をしましたが、文化協会の中には、詩吟・民謡・人形劇・邦楽など様々なグループサークルがあると思いますので、そういったところの人の力を借りて学校教育を膨らましていけるような対応をしていけたらと考えていますので、またいろいろ知恵をお貸しください。</p> <p>その他にご意見等はございませんか。</p> <p>運動会について、参加されて何かご意見はございませんか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>運動会を「やる」「やらない」という判断は校長にとって非常に負担の大きな判断だったと思います。校長先生の判断力や統率力がみんなの前にさらされる良い機会、あるいは悪い機会になったかもしれません。「この雨の中でやるのか」という意見や「子ども達の健康を考えて、さっさと早くやめる決断をしてほしい」という声も聞こえてきましたので、本当に校長という職務は大変だと思いましたし、だからこそ校長の仕事を全うするのは大変だと思うので、ぜひ校長先生にはこれからも頑張ってください、ますます校長力を磨いていただきたいと思います。</p>
<p>関教育長</p>	<p>ありがとうございます。その他にご意見等はございませんか。</p> <p>次に議案審議に移ります。本日の議案は第33号から第35号ま</p>

<p>高橋学校教育課長</p>	<p>での3議案となっております。</p> <p>それでは、始めに議案第33号「審査請求について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>学校教育課 高橋でございます。</p> <p>議案第33号「審査請求について」について、ご説明申し上げます。</p> <p>議案書の5ページをご覧ください。</p> <p>経緯につきましては、平成28年7月7日付けで、教科書問題を考える東予の会の共同代表4名及び教科書裁判を支える会共同代表3名から、審査請求が提出されました。請求内容は、本年5月18日付及び6月22日付けの情報公開請求に対して公開決定し、「第2回採択委員会会議録」について、学校教育担当課が所有する公文書の写しを交付したところですが、この会議録について、答申結果だけでなく、発言等をふくめた議事としての過程部を公開するという審査請求でございます。</p> <p>採択委員会の会議録につきましては、法的に作成しなければならないと規定されているものではありませんが、要点筆記の議事録を公文書として作成保存しておりまして、発言者や発言内容を記録した会議録は作成しておりません。また、新居浜市教科用図書採択委員会は、設置要綱第2条の任務として、教科用図書について調査研究を行うとともに、その採択に関し審議し、その結果を報告するとされいるところで、報告に関する資料は、平成27年8月の教育委員会定例会の審議資料を情報公開請求により公開いたしております。なお、文部科学省の通知では、教科書採択においては、調査員や採択委員会などが作成する資料に評定を付す場合であっても、その評定に拘束力があるかのような取り扱いはしないとされているところで、採択権者である教育委員会が、その権限と責任において公正かつ適正に採択を行うとされているのは、ご案内のとおりでございます。</p> <p>本件につきましては、新居浜市情報公開条例「第3章 審査請求」第19条の2の条文において、審査請求にかかる審理員の指名の適用除外が規定されておりまして、第20条の規定により、却下あるいは全部公開する場合を除いては、新居浜市情報公開審査会に諮問して、その答申を尊重して、審査請求に対する裁決をしなければならないとされておりますことから、新居浜市情報公開審査会に諮問</p>
-----------------	---

<p>関教育長</p>	<p>したいと考えております。 よろしくご審議をお願いいたします。</p> <p>ただ今の説明で、何かご質問やご意見はございませんか。 事務局の方からは、新居浜市情報公開条例第20条に基づいて、新居浜市情報公開審査会に諮問し、その答申を尊重するという説明がありました。そのような対応でよろしいでしょうか。 賛成の方は挙手いただきたいと思ひます。</p> <p>(全員挙手)</p>
<p>関教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議案第33号に関する審査請求につきましては、新居浜市情報公開審査会に対して諮問するという対応をしたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
<p>三沢社会教育課長</p>	<p>それでは、次に議案第34号「行政不服審査請求について」事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>社会教育課三沢です。 それでは議案第34号「行政不服審査請求について」ご説明申し上げます。 議案書の6ページをお目通しください。 本議案は、行政不服審査法第2条に基づき、平成28年8月23日付けで別紙請求書記載のとおり新居浜市教育委員会に対してなされました、平成28年度中学校教科用図書採択に係る審査請求に対しまして審査庁として教育委員会の決定をしようとするものでございます。 行政不服審査請求につきましては、行政庁の違法または不当な処分に関し、国民が簡易迅速かつ公正な手続の下で広く行政庁に対する不服申し立てをすることができるための制度を定めることによりまして、「国民の権利利益の救済を図る」とともに「行政の適正な運営を確保すること」を目的としております。 本案件に関し法的要件を満たしているかということについて顧問弁護士から次の2点についてご意見をいただいております。 まず1点目は、今回の処分についての審査請求につきましては、審</p>

	<p>査請求人は、自己の権利もしくは法律上保護された利益を侵害され、または必然的に侵害される恐れがある者ではないことから、本請求にかかる原告適格は認められないということ。2点目は、審査請求人が処分のあったことを知った日は、教科書採択のあった平成27年8月12日もしくは、情報公開を請求した平成27年8月17日と考えられますが、いずれの日においても審査請求期間を経過しているため、本請求のための要件をみたしていないということ。この2点でございます。</p> <p>以上のことを踏まえ、教育委員会としての方針を決定したいと思います。ご審議よろしく願いいたします。</p> <p>ただ今の説明で、何かご質問等はございませんか。</p> <p>それではただ今の内容について、新居浜市教育委員会としてどのような採決をするかということになりますが、一つは審査請求人が平成28年度使用中学校用教科書の採択によって自己の権利、もしくは法律上保護された利益を侵害され、または必然的に侵害される恐れがある者でないことから、本請求に係る原告適格は認められないという論点、もう一つは審査請求人がそれを認知した日が、教科書採択のあった平成27年8月12日、もしくは情報公開請求した平成27年8月17日と考えられることから、いずれの日においても審査請求期間を経過しているという理由のもとに今回の審査請求については不適法であるとの認識の下に却下するという結論を考えています。</p> <p>委員の方々、ご賛同いただけます方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(挙手多数)</p>
<p>関教育長</p>	<p>賛成多数ということになりますので、今回の行政不服審査については却下ということで取り扱わせていただきたいと思います。</p> <p>以上で、この案件につきましての審議は終了させていただきます。</p> <p>続いて、議案第35号「新居浜市寺尾音楽教育振興基金条例の一部を改正する条例の議案送付について」事務局から説明をお願いします。</p>

高橋学校教育課長	<p>学校教育課 高橋でございます。</p> <p>議案第35号新居浜市寺尾音楽教育振興基金条例の一部を改正する条例の議案送付について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>議案書の7ページから9ページをご覧ください。</p> <p>新居浜市寺尾音楽教育振興基金は、故寺尾貞子氏の意志を継がれた遺族の寄付金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、平成元年に設置された基金でございます。基金から生ずる収益を学校音楽教育振興資金に充て、新居浜市小・中学校音楽教育振興会に対して補助金として支出しております。条例第6条の規定により、基金の額が1,000万円以下になる処分はできないこととなっておりますが、基金の処分を柔軟にし、学校音楽教育のさらなる充実を図るため、第5条において、基金の運用から生ずる収益は予算に計上し、基金に編入するものとし、第6条第2項の基金の額が1,000万円以下になる処分はできないものとする条項を削り、学校音楽教育振興基金に充当するときに限り、その全部又は一部を処分することができるように条文改正をするものでございます。</p> <p>なお、この条例は、平成29年4月1日から施行したいと考えております。以上で説明を終わります。ご審議よろしく願いいたします。</p>
関教育長	<p>ただ今の事務局説明に対して、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>今までは基金の果実運用だけで、極めて少額の事業への助成等が行われており限られていたのですが、今後できれば寺尾さんの意思を尊重して新居浜市の子ども達の音楽教育に生かしていきたいという趣旨です。この議案案件に賛成の方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p>
関教育長	<p>ありがとうございます。では、承認とさせていただきます。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>(休憩)</p>
関教育長	<p>それでは再開いたします。</p> <p>いじめ、不登校等生徒指導関係に移ります。事務局から説明をお</p>

高橋次長	<p>願いたします。</p> <p>お手元の生徒指導関係資料をご覧ください。</p> <p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 不登校について</li> <li>2 いじめについて</li> <li>3 不審者情報</li> <li>4 交通事故について</li> </ol>
関教育長	<p>ありがとうございます。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はありませんか。</p> <p>私の方から聞いてもよろしいでしょうか。ポケモンGOについて、何か情報はありますか。</p>
高橋次長	<p>大きなものは入っていません。小さな話もあまり聞きません。</p>
関教育長	<p>9月の不登校数99名というのは昨年の実数と比較すると増減はいかがですか。</p>
高橋次長	<p>プラス2名となります。1ページ目に過去平成22年～27年まで同月の比較ができると思いますが、昨年度9月は97名、今年度は99名ということで昨年度と同じような推移をたどっています。この他に内科的疾患として報告されている児童もいますので、そうしたことも非常に気になるところです。</p>
関教育長	<p>先ほど、家庭への支援へも今後検討したいという話もありましたが、具体的に何かあれば教えてください。</p>
高橋次長	<p>学級担任が個別に家庭に足を運んでいるのですが、なかなか家庭そのものの環境改善というところに至らないケースも多ので、文部科学省の事業を受けまして、福祉の専門的な資格を持つ方々が家庭へのサポート役となり、専門職の力を借りてコーディネーター機能を発揮していただいて、チームとして学校も地域の人的資源も活用しながら、子どもが学校に向かえる環境作りに力を入れたいと思います。また、学校にはなかなか行きにくいけれど、フリースクール等によって生活を立て直すということも一つの選択肢として取り</p>

	<p>組んでいるところです。そういった家庭へのアプローチ、それからフリースクール等の選択肢を設けることで現在、家庭の中にももっていたり、学校に行くことのできない子どもへの支援をしていきたいです。特に中学校2校に重点的な研修を行って、その実証性を確かめていきたいと考えています。</p>
長野委員	<p>いじめ・不登校については、大変詳しく定期的に調べていただきますが、2学期が1か月が経ちましたが中学生の日常的な非行、例えば夜間の外出や徘徊、問題行動であるとか、そういったことで特に新居浜市で問題になっている実態はいかがでしょうか。</p>
高橋次長	<p>先月も報告しましたが、夏休み中新居浜市内においては大きな事件・事故等はなく、9月は運動会がありましたしが雨で延期が続き、9月中ずっと運動会の練習の状況が続きましたので、今のところ報告をしなければいけないような事案というのは学校教育課には入ってきていません。</p>
宮内委員	<p>今回のいじめなんですが、本人からもしくはご家族からの訴えだったんですか。</p> <p>いじめについて、もう少し詳しく教えていただけませんか。</p>
高橋次長	<p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p>
宮内委員	<p>学校の努力、本当にお疲れさまです。ただ、この表を見ると10月、11月と次第にいじめが増える、昨年どおりだともっと増えてくる危険性もあるかと思えますので是非開かれた学校、ご父兄が学校にいろいろなことが言いやすい雰囲気为学校を作っていただきたいと思えます。今回の対応はお疲れさまでした。</p>
関教育長	<p>ちなみに、その子どもはQ-Uの中ではピックアップできるようなタイプなのでしょうか。</p>
高橋次長	<p>ちょっとその資料が今ないので、後ほど報告いたします。</p>
関教育長	<p>そこが上手くつながるのであれば、未然に状況が把握できるのではないかと、何年か経過している子どもであったら何かそこでみれ</p>

高橋次長	<p>たらいいかと思います。</p> <p>個人的にはこの名前に記憶があるので、おそらく今までの担任も注意して関わっていると思います。</p>
関教育長	<p>その他にご質問はございませんか。</p>
伊藤委員	<p>昨年のいじめの数のことで伺いたいのですが、私の記憶違っていたら申し訳ございません。</p> <p>昨年2学期に入った時点で、確か全国ニュースになるようなお話が出ていて、軽微ないじめについても極力数を挙げていきなさいという指導を教育委員会から行った結果、数が増えたとは記憶しております。10月、11月でたちまち増えたという傾向は捉えにくいのではないかと思います。ただ、夏休みが終わったところで先生方が一生懸命になって生徒のことを見ていただくという努力は必要かと思えます。</p>
関教育長	<p>そこでのさしが変わったということですか。</p>
高橋次長	<p>昨年度、そうですね。</p> <p>少し補足させていただきます。次ページに学校名が入った細かい表があります。「学校生活でつらいことはないか」「先生の言葉に傷ついたりしたことはないか」など学校生活のことについて毎月調査をしている「きずなアンケート」といいます。そこに出てきた件数はそのまま載せる、例えばその学校で10人だったら、この表には10人となりますし、0だったら差し当たって学校生活の中ではそれほど訴えを聞いてもらわないといけないことはなかったということになります。県の教育委員会に報告しなければいけないような重大なものか、あるいはいじめの疑いがあるかということ进行分类しています。確認した上で聞き取り等を行ったり、それで済むものか児童生徒を指導したか保護者を含めて指導したか解消したか対象中かという分類で行っていますので、伊藤委員さんをご心配していただいたとおり、小さいものでも、とにかく子どもから出てきたものは全て確認して対応するという姿勢で取り組んでいますので、これは継続して行っていきたいと思います。</p>



長野委員	<p>数だけで判断をしてはいけないと思います。多いからダメ、ゼロだから良いという基準で見ると数字に出てこないと思います。子ども達が「きずなアンケート」を、ちゃんと書いていいんだと思える、困ったこと、苦しいことを伝えることができる学校を作っていただきたいです。だから、そういう訴えがたくさんあった月は数が増えるかもしれませんが、大事なのは子ども達にそういう安心感をもって学校や先生や親に訴えていくことを大事にしていきたいです。数字ばかりを見るとそれに拘束されて、それが崩れてしまうと思います。これからも学校の方へ呼びかけ、そしてご指導の方をお願いします。</p>
関教育長	<p>是非小さい芽のうちに摘めるものは摘む対応をしていただけたらと思います。</p> <p>その他に何かご質問はございませんか。  それでは、その他に移ります。</p> <p>平成28年度新居浜市教育委員会点検・評価について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
三沢社会教育課長	<p>社会教育課三沢です。</p> <p>手元にお配りしております平成28年度教育委員会点検・評価選定事業一覧表（平成27年度事業）についてご説明申し上げます。</p> <p>新居浜市教育委員会の事務事業の執行状況の点検・評価につきましては、6月の定例会において今年度の事務の進め方について説明申し上げましたように、今回選定事業等につきまして3名の委員の方々から学識経験者の意見の提出がございました。それを受けて所管課におきまして、次ページの右側の一番下の欄に、評価結果等を踏まえた今後の取組の方向性を作成いたしております。今回、この評価結果等を踏まえた今後の取組の方向性等に関するご意見を10月19日を目途にいただきたいと考えております。その後、いただいたご意見を反映させた報告書を作成しまして、次回、11月の教育委員会定例会で議案としてご審議いただく予定といたしております。期間が短く大変申し訳ございませんがよろしく願いいたします。</p>
関教育長	<p>今後の取組の方向性ですか。</p>

三沢社会教育課長	<p>はい。点検評価委員の方からご意見をいただいているのですが、それに対する所管課からの意見を書いておりますので、これについてのご意見をいただいた上で最終の教育委員会としての点検・評価の報告書を作成したいと考えております。</p>
関教育長	<p>29年度事業に向けてご意見をいただけたらと思います。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、次に、全国学力・学習状況調査結果について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
高橋次長	<p>次長の高橋でございます。</p> <p>お手元の冊子の1ページ目からご説明いたします。</p> <p>新居浜市は小学校は全国平均、中学校は全国平均よりかなり良いという結果でした。1枚目に比較のグラフが書かれています。愛媛県全体は今回大変良かったことから、小学校は愛媛県全体と比べると若干残念ですが、全国的に見ると全くその問題はございませんし、新居浜市の学力は着実に向上していると捉えることができます。</p> <p>2ページ目は、小学校の各教科観点別の特徴に関するレーダーチャートです。この特徴ですが、青線が新居浜市、赤点線が全国平均となっています。上が国語、下が算数の結果となっています。国語は「関心・意欲・態度」が良く、反対に苦手なところは「話す・聞く能力」ということが捉えられます。算数は、「計算や作図の技能」が良い結果になっています。</p> <p>3ページ目は、小学校の学習や状況についてです。新居浜市が良いのは、「自分にはよいところがある」という自己肯定感、「学校のきまりを守っている」「テレビ等は2時間未満である」「インターネット等は1時間未満である」というところです。反対に全国平均と比較し改善しなければいけない点は、「朝食を毎日食べる」「地域・社会の問題に関心がある」「平日の読書の時間が短い」という項目が小学生の課題となっています。</p> <p>4ページ目は、中学校の各教科観点別の特徴についてです。国語は「関心・意欲・態度」が高くなっており、勉強そのものに関心を持っていると言えます。「話す・聞く能力」につきましては、小学校は全国平均を割っていましたが、中学校はほぼ同じです。小学校</p>

から中学校へ伸びてきていると捉えられます。「書く能力」も、全国平均よりも随分良くなっています。小学校では弱かった部分なので伸びてきているという捉え方ができます。全ての分野において全国平均を上回っています。

5ページ目は、中学校の学習や生活の状況についてです。やはり、中学校も「自分にはよいところがある」という点が良かったです。小学校では「地域・社会の問題に関心がある」が弱かったのですが、中学校はかなり良い結果になっています。ふるさと学習なども原因の一つかと思われます。

6ページ目は、先ごろ新聞等でも公表されました県内19市町別平均正答率です。上の表が小学校、下の表が中学校となっています。赤は全国比プラス3ポイント以上、青は全国比マイナス3ポイント以上となっています。新居浜市についてはマイナス3ポイント以上のものはありません。

7ページ目も、新聞で公表されている結果を元に小中学校合わせた結果を一覧表にしたものです。

8ページ目は、市内小中学校別の平均正答率の詳細です。赤が全国と比較して高い項目です。中学校に赤が多いことから、小学校からの積み上げの上に中学校の学習があり、非常に伸びているというのが毎年の傾向となっています。小学校では意欲を育て、勉強の基礎を築き、中学校で鍛えるというのが新居浜市の図式になっています。時々、中学校での授業では雑だというご指摘もいただきますが、さらに良いところを目指して授業改善に努めたいと思います。

9ページ目は、平成25年に小学6年生だった子が、矢印で示している先の平成28年に中学3年生ということで、その時の結果から比べてどのように伸びているかを比較する表です。

例えば、国語Aについて小学生は残念ながら全国平均と比較すると若干下がっていますが、その他の算数A、算数Bがそれぞれ、数学A、数学Bになると、どのようになったかという、大変な伸びがあり、十分に力が付いてきているというように思います。

10ページ目からは、設問別調査結果となります。その問題について赤は全国比プラス5ポイント以上良く、青は全国比マイナス5ポイント以上悪い結果となっています。ローマ字についての問題が今回芳しくありませんでしたが、パソコン入力に関してはほとんどローマ字入力しているので、問題が難しく解答できなかったというところがあるかと思えます。細かい調査結果はこの先をご覧ください

	<p>ければと思います。</p> <p>最終の2ページをご覧ください。先ほど少し触れましたが、小学校・中学校の各教科ごとの考察、今後の取組を示しています。また、お時間のある時にお目通しいただければと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
関教育長	<p>ただ今の説明について、何かご質問やご意見はございませんか。</p>
伊藤委員	<p>これは4月に受けた調査の結果ですか。</p>
高橋次長	<p>そうです。今回、文科省の公表が遅れましたので、当初は8月の予定だったものが9月終わりに公表となりましたのでご報告が遅くなりました。</p>
関教育長	<p>その他に何かご質問はございませんか。</p>
長野委員	<p>年間をかけて着実に取組を進めている成果が表れていることが、図を見て比較するとわかり、先生達の努力のたまものだと思います。学力というのは今の時期にしっかりと定着させておかないと後から取り返すということは難しいことですので、学校現場でも今の状態をさらに発展していただきたいと思います。また、同時にこのような成果を上げるために先生達の仕事、職務としての負担感がどのようなものなのか懸念されるところです。そのあたりを教育委員会はチェックし、先生達にとっての仕事量であったり勤務時間であったりと様々なことに影響を及ぼさないような工夫や手立てを考えて一緒に取り組んでいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p>
高橋次長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほど教育長からも話がありましたが学校の業務改善について、今月末に鳴門教育大学の久我教授をお迎えして子どもと向き合う時間を見出すための研修会を早速企画しています。学校を預かるリーダーの考え方が変わることで、そうした時間を見出せるように努めていきたいと思います。</p>
関教育長	<p>その他に何かご質問はございませんか。</p>

<p>高橋学校教育課長</p>	<p>学校教育課高橋でございます。</p> <p>学校図書館支援センターだより No. 10 について、報告をさせていただきます。</p> <p>まず左側です。夏休み期間を利用して、小学校の図書館におけるシステム化されていない小学校では、図書を選別し、バーコードを貼付して、管理ソフトに図書データの入力作業を実施いたしました。校舎改築中の泉川小学校を除き、ほぼ作業が完了いたしました。2学期からシステム運用が開始されてきております。</p> <p>次に右上をご覧ください。7月5日と6日の2日間、中学生職場体験事業として、北中学校の二年生生徒4人が、新居浜小学校と宮西小学校で、学校司書の仕事を体験した様子を掲載しております。</p> <p>その下をご覧ください。6月17日、8月24日、外部講師を招いて「学校図書館の活用」に関して、学校司書の研修を実施いたしました。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>関教育長</p>	<p>その他、何か連絡事項等はございませんでしょうか。</p>
<p>榎木総括次長</p>	<p>総括次長の榎木です。</p> <p>一件ご報告させていただきます。資料の中の新居浜市政策懇談会第4分科会（教育力向上）提言書（案）をご覧ください。</p> <p>10月21日に政策懇談会が実施予定となっております。今回、平成26年度に同政策懇談会で提言されたことを受けて実施している事業が3枚目に記載されています。この13事業について第4分科会（教育力向上）担当として平成26年度の提言を受けて平成27年度に実施した事業について評価等を行いました。その評価の検証結果の概要が一覧に記載されています。基本的に概ね事業そのものの取組については順調に推進しているということで評価していただいております。今後の方針についても引き続き継続する、英語キャンプについては人員体制といった部分もありましたので改善しつつ引き続き継続するという方針で位置付けております。</p> <p>2枚目の提言書の内容となりますが、今回は平成27年度に実施した事業の基本的には評価をしたという形になりますので、それを踏まえた提言となり、今回、改善等の指摘があった1点目として学校ICT機器の整備の遅れや老朽化等についてです。計画的かつ適</p>

	<p>正な時期での整備・更新を望むという問題と、2点目はモデル的に一部の学校でやっている事業で成果のあるものについては、早期に漸進的に拡充していくべきであるということです。3点目は単純に事業全般に言えることですが、非常によい活動をしているにも関わらず、市民の方があまり知らないものも多いので、積極的に周知広報をすべきだとの話もございました。この3点を特に要望するという形で提言される予定です。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>関教育長</p>	<p>これは来年度予算反映ですか。</p>
<p>榎木総括次長</p>	<p>そうですね。28年度の分科会の提言です。本来、提言するという形で会議自体は進んでいなかったのですが、基本的に26年度の提言を受けて27年度に実施した事業がどうであったか評価をしてもらっていますので、それについては基本的に概ね実施した事業については一定の効果が出ていて引き続きすべきという話なのですが、それを受けて一応形式上、本年度の提言をするというようになっているので、特に来年に向けて進めて頂きたいものをピックアップして提言する形でまとめて並べさせていただいています。</p>
<p>関教育長</p>	<p>政策懇談会の委員の意見ということで、まとめているということですか。</p>
<p>榎木総括次長</p>	<p>委員の分科会のメンバーの意見を集約したものを特に要望するという形でまとめています。基本的には政策懇談会の分科会の提言となりますので、そのご報告となります。</p>
<p>関教育長</p>	<p>分科会と教育委員会とのリンクというのは特に求めなくていいのですか。</p>
<p>榎木総括次長</p>	<p>政策懇談会はあくまで市長へ提言を行う組織です。</p>
<p>関教育長</p>	<p>その他に何かご意見はございませんでしょうか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>教育委員の皆様にあ媛新聞の切り抜きを読んでいただくようにお配りしています。</p>

	<p>今治市の方が愛媛新聞に投書した「部活動を早めに終わらせろ、部活動中心になっていないかと」ということについて、県の教育委員会が模範的な回答をしています。ぜひ、県の教育委員会の趣旨を理解していただき学校現場でクラブ活動があまり重視されないようにしていただきたいです。私が一番懸念しているのは、クラブ活動が高校の内申書の脅しに使われている危険性があるのではないかとことです。県の教育委員会は、「遅くならなくていいよ、勝負にこだわらなくていいよ、要は全人教育の一環としてクラブ部活動を行っているのだから」という趣旨ですが、現実には先生に長い間立たされたとか、先生が内申書に悪いことを書くと言われたというようなことがあると聞いたことがあります。是非、県の教育委員会の模範的的回答を読んでいただいて正すべきところは正す、やるべきことはやっていただきたいと思います。</p>
高橋次長	<p>一点だけご説明いたします。高校の内申書に書くぞという点でございしますが、世間的によく内申書には子どもの悪い点を書きつけるという捉え方がありますが、私自身中学3年生を何度も担当していますが、先生というのは非常に生徒の良い点を見つけて事実に基づいて報告しておりますので、世間に言われるようなことは全くございませんし、そこには担任の愛情が溢れています。是非、そこだけをご承知おきいただければありがたいと思います。</p>
宮内委員	<p>本当に先生達が皆、高橋次長がおっしゃる通りだったら、良いと思うのですがあくまで噂なのですが、こんなひどい先生がいたという話も時々ありますので、子ども達にとって良い学校であってほしい、より良い先生であってほしいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
高橋次長	<p>その都度、指導してまいります。ありがとうございます。</p>
関教育長	<p>先ほどから出ていました文科省の業務改善のタスクフォースの報告書の中でも1つ目は学校の業務改善、2つ目は部活動の見直しの両方が大きな柱となって、教師が本来の子どもと関わる時間を奪われていることや、ワークライフバランスを崩しているのではないかとこの指摘がかなりあります。その両方を踏まえながら、今後望ましい在り方をじっくり考えていきたいと思っております。部活動について</p>

ては片方を持ち上げると片方が落ち込むようなところがあり、難しいところはあるのですが。宮内委員の耳にまた良き情報が入ればご報告ください。

その他に何かございますか。

教育委員の先進地研修についてですが、佐賀県多久市と佐賀市を視察したいと思います。多久市につきましては、コミュニティースクールや小中一貫校である学校に重きを置いた研修になるかと思えます。佐賀市においては、社会教育の領域で、公民館と学校がどのように地域学校協働本部的なつながりで事業を行っているか、あるいは地域活性化で公民館がどういう役割をしているかについて学びたいと思えます。宜しくお願いします。

それでは、次回の定例会の日程を決定させていただきたいと思えます。11月の第一木曜日は文化の日で祝日となりますので、その他の日程にしたいと思います。翌週の11月10日木曜日にしたいのですか、いかがでしょうか。

11月の定例会は、11月10日木曜日の15時より開催させていただきます。宜しくお願いします。

これで、平成28年第9回教育委員会定例会を閉会いたします。

新居浜市教育委員会会議規則第13条の規定により署名する。

委員名

委員名